



佐藤 仁志 議員
無会派

問 市民参加なき総合計画では

答 整備を進めることが行政の責務

○JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業について以下を問う。

問 区長・区長補助員との意見交換会では、質問に正面から市長の声で回答していないという意見があるが。

答 (市長)意見交換の中で進めていく。

問 前市長が説明会を開催して、市民合意を形成しておくべきだったのでは。

答 平成28年3月議会以前市長が施政方針で述べている。

問 駅整備は、昭和55年までに着手すべきだったので。

答 地権者の合意が得られず、事業化に至っていない。

問 利用者数の内訳は。

答 JR2900人、名鉄2800人、それ以外300人、計6千人。

問 道路整備を必要とする歩行者が300人であれば、鉄道事業者が事業主体ではないか。



▲JR・名鉄弥富駅

答 自由通路の部分は、JRと近鉄の間のまちづくりと一体のもの。

問 鉄道事業者に設計施工を依頼するリスクを市長が負う覚悟は。

答 議会にも公表して進めるので心配していない。

問 自由通路の負担が大きすぎるが。

答 弥富市道として整備をするため、都市計画法及び道路法による規制がかかる。

問 都市計画審議会委員に津島市のように学者を委嘱しない理由は。

答 参考になることがあれば、参考とする。

○職員の人事異動について以下を問う。

問 市長の考える優秀な職員とは。

答 (市長)高い能力や意欲を持った職員。

問 保育士の退職理由は。

答 一身上の都合など。

問 ワークライフバランスを保ち職務に従事できる環境を整える。

問 隣接都市の不法占有物件の処理規定は。

答 海部管内は公共用物管理条例等に基づいて対応している。

問 失敗から学び正すことが必要では

答 自ら積極的に職員と対話

問 土砂災害や水害の教訓は。

答 躊躇なく避難指示等を発令することを基本に、災害対策に努める。

問 市民の声をデータベリスタ化しては。

答 データを集約し、全職員が共有できる環境を整え、日常業務に活用し始めた。

問 職員が生き生きと働くには。

答 積極的な職場の環境づくりに重きを置いた人材育成が必要。



▲弥富市役所